# 溶剤リサイクルのパイオニア　海外展開を積極化

http://www.n-refine.co.jp
**日本リファイン株式会社**

日本リファインは工業製品の生産に欠かせない溶剤（揮発性有機化合物）を再生する技術を持つ。
モノづくりが全世界に広がり、溶剤リサイクルの活躍する場所もグローバル化している。

**業種 ／ 精製リサイクル事業、環境エンジニアリング事業、トータルソリューション事業**

**地球環境のあり方があらためて問われている時代。地球温暖化に対する取り組みは重要になる一方で、また新興国の経済発展に合わせて資源を持続的に活用する必要性にも迫られている。全世界で資源循環型社会の構築が不可欠な状況だ。こうした世界情勢の中、日本リファインは溶剤リサイクル業界のパイオニアとして存在感を高め、活躍の舞台を世界に広げている。**

日本リファインで精製した電池グレード品（右）と他社の新品（バインダー溶解後）

工業製品の製造工程で欠かせない溶剤（揮発性有機化合物）。産業の〝血液〟とも言える重要な存在だ。しかし、使用後にリサイクルされる溶剤は全体の10％程度とされており、ほとんどの溶剤はリサイクルされることなく焼却処分されたり、大気中に放散されたりしている。溶剤は製造工程で、その重量以上の石油を消費している。さらに、使用済みの溶剤の焼却過程では重量の3倍以上の二酸化炭素（$CO_2$）を生み出す。これを踏まえると、現在10％程度にすぎない溶剤のリサイクル率の向上は、環境保全のためにも、限りある資源を有効活用するためにも欠かせないことがわかる。

日本リファインは、この溶剤リサイクルのパイオニアだ。使用済み溶剤を現場で回収後、自社の工場に運び精製し、再度同じ行程で使えるように「再生」して顧客に戻すのが主な仕事だ。また、顧客が自社の工場で精製処理ができるように、設備に関するエンジニアリングや運転管理のサポートも手がけており、溶剤リサイクルに関する一貫した技術やノウハウを提供する。

## 元の溶剤より高品質に“アップサイクル”
## 環境問題の解消に貢献

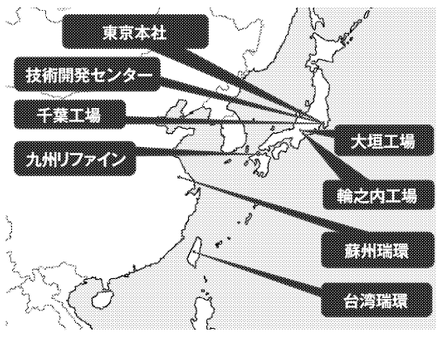
創業は高度経済成長のただ中にあった1966年（昭41）。モノをどんどんつくることに価値を求めていた時代に、使用済み溶剤の行方に着目した同社は、いち早く溶剤の精製・リサイクル技術を実用化した。長年蓄積したノウハウは他社の追随を許さず、業界で確固たる地位を築いた。

近年は、使用済み溶剤を精製して新液以上の品質と機能を持たせる「アップサイクル」技術を確立。最初の溶剤よりレベルの高い「リファイン」する事に成功している。特に電気自動車などに搭載するリチウムイオン二次電池は高品質・高純度の溶剤が不可欠であり、需要が急増している。ここに「アップサイクル」技術を適用することは、ユーザーにも地球環境にもメリットは大きい。メリットが大きいということは市場性も大きいということだ。

循環型社会の構築は地球規模の課題であり、当然、日本リファインは事業を世界規模で展開している。溶剤のリサイクル需要が旺盛な中国や北米、台湾での活動が活発化している。中国では蘇州工業園区内に子会社を構え「東洋のシリコンバレー」の異名を持つ同園区内に集積する国内外の企業を主要納入先として、事業規模を拡大している。新たな拠点設置も視野に入っている。台湾では液晶ディスプレーやタッチパネル、電子材料のほか工業部材などの製造工程で使う溶剤をリサイクルしており、こちらもリサイクル需要が増すばかりだ。北米ではシェールガスやシェールオイルの産出もあり、製造業が復活し出している。電子部材や樹脂製品などの製造も勢いを増す傾向にあり、日本リファインが活躍する場が広がるばかりだ。

さらに、医薬品を製造する途中段階の成分「中間体」を製造する企業が集積するインドにも目を向けている。中間体を製造するときに使う反応溶媒なども溶剤であり、これをリサイクルする意義もやはり大きい。すでにパートナー企業とビジネスを進めており、これを足がかりにインドでの事業展開も拡大させていく方針だ。

そして、日本リファインは新規事業の創出にも乗り出している。溶剤リサイクル事業の強化・拡大、さらにグローバル展開とで成長してきた同社が、さらなる飛躍のため新しい事業を生み出そうとしている。その取り組みの一つとして研究開発本部に「未来創造研究室」を設置。既存事業の延長線上にはない、新しい事業の創出に取り組んでいる。溶剤にこだわらず、水や空気を扱うなど、日本リファインの将来を支える柱を育成していく。




創出は企業規模拡大が目的ではない。日本リファインが手がける事業の一つひとつは、環境保全や公害対策など大きな社会問題の解消に貢献するものだ。事業の範囲を広げていくのは、地球環境や社会問題を少しでも良くしようという理念に基づくものであり、世界を「リファイン」するのが目的だ。

## Top Message

代表取締役社長
**川瀬 泰人**

### 目標に向い力を高められる人が大切

**●人材は人財とも言われます。日本リファインは採用にどのような考えを持っていますか。**

「やはり、企業は人でなりたっている。個人個人が力を持っていることが会社の力になる。個の力を団結できる組織は経営陣が整える。だから、社会人として自分の力を高めていくことの大事さに気付いている人に集まってほしいと考えている。学生時代から目標を持ってやってきた人、特に環境や資源に興味を持っていた人だと当社をおもしろいと思ってもらえるのではないか」

**●環境意識の高い人が有利ということですか。**

「環境意識が高いことは良いことだが、当社が歓迎したい人材は自然に興味を持っている人と表現した方が適していると思う。登山でもスキーでも、遊びや趣味を通じて自然と相対してきた人たちの自然観が、当社の事業に通じる事が多い。そうした人ならば入社後も、社内で過ごしやすいと思う」

### 自然と親しんできた若い感性がほしい

**●入社したらどんな挑戦ができますか。**

「海外で仕事をしてみたいと思っている人は、存分に活躍できる場を与えられると思っている。当社では海外で新しい仕事をすることになると、若手社員の手がすぐあがる。海外での新しい仕事を提案する若手もいるほどだ。モノづくりが日本にとどまらず世界でされる時代であり、当社にとってのニーズはそこにあるのだから、海外での仕事が増える一方だ」

**●入社した後の育成や会社の雰囲気も気になります。**

「当社の育成方針は「考働」と「共育」だ。考働は、ただ働くのではなく、自ら徹底的に考える習慣をつけて働く人になってほしいという主旨。共育は、会社の上司が部下にアドバイスをする場合でも、お互いに学ぶところがあるという考えを表現した言葉だ。この方針の下、コミュニケーションをしっかりとるのが基本だ。入社後研修、6カ月後研修1年後研修など成長を確認できるような研修制度も充実させている」

**●これから採用する人たちに期待することは。**

「感じ取れる力が強い人になってほしい。そして自ら進んで失敗を恐れずチャレンジしていけること。チャンスがきたらチャンスと感じて、積極的に挑んでいくことが、重要だ。そうした意味ではいろいろなコトやモノに興味を持ち、いろいろなことを楽しめる人であってほしい。若い世代の人は自然などに対し感性の良い人が多い。そうした感性を大事にしながら、さまざまな方面に興味を持ち、能力を発揮してもらいたい」

## 採用DATA

採用職種／【研究開発】新規・要素開発
【技術開発】リサイクルの為のサンプル分析、実験、プロセス開発
【設備設計】リサイクル・環境保全装置のプロセス・機械設計、試運転等
【品質管理】原料の受入検査、製品の出荷検査
給　　与／［大 学 卒］200,000円（2015年予定）
［大学院卒］213,000円（2015年予定）
［高 専 卒］179,000円（2015年予定）
昇　　給／年１回（７月）
賞　　与／年２回（６月、12月）
勤 務 地／東京（丸の内）、千葉（市原）、岐阜（大垣市、輪之内町）
勤務時間／○技術職、営業職、総合職
東京　9時00分～18時00分
千葉　8時30分～17時30分
岐阜　8時00分～17時00分
○製造職、交代制
千 葉 工 場　8時30分～18時30分、20時30分～6時30分
輪之内工場　8時00分～18時00分、20時00分～6時00分
休日・休暇／○技術職、営業職、総合職　年間休日128日（2015年度）、完全週休2日制、祝日、夏季・年末年始休暇
○製造職　交代制　３勤1休3勤２休の変形労働による交代制、年間休日154日（2015年度）、夏季・年末年始休暇ほか
福利厚生／各種社会保険、従業員持株制度、永年勤続表彰ほか

## 会社DATA

**【会社概要】**
設　　立／1966年(昭41)6月22日
代 表 者／代表取締役社長　川瀬　泰人
売 上 高／連結：98億円（2014年6月期）
社 員 数／連結：423名（2014年6月末現在）
資 本 金／6億8760万円
事業内容／○精製リサイクル事業　使用済み溶剤、化学薬品のリサイクル・有効活用。化学品の分離精製プロセスの受託。
○環境エンジアリング事業　蒸留を中心とするリサイクル設置・環境保全設備の開発、設計、施工、保守サービス
○トータルソリューション事業　精製リサイクル事業と環境エンジニアリング事業を組み合わせ、顧客のニーズに応じた最適なソリューションを提案。

本　　社／東京都千代田区丸の内２－２－１　岸本ビル11F（東京本社）TEL 03－3201－3333㈹
事 業 所／輪之内本社・工場（岐阜県輪之内町）、大垣工場（同大垣市）、千葉工場（千葉県市原市）、技術開発センター（同）
海外拠点／台湾、中国

**【お問い合わせ先】**
応募方法／エントリー受付中、エントリー方法はリクナビより
採用担当／人事本部　光永
採用担当者から　資源循環と環境保全に興味があり「経営理念に共感できる方」　「大自然が好きな人集まれ！」